

# 岡津第三町内会 第34回定期総会

令和6年(2024年)4月21日(日)午後1時30分～  
◎岡津町内会館

司会 本多篤太郎(総務)

## 議案審議

- 第1号議案 令和5年度 事業報告
- 第2号議案 令和5年度 一般会計並びに特別会計収支報告  
(会計監査報告)
- 第3号議案 令和6年度 役員及び班長の選任(案)
- 第4号議案 令和6年度 事業計画(案)
- 第5号議案 令和6年度 一般会計収支予算(案)

## 第1号議案 令和5年度 事業報告

令和5年度事業報告

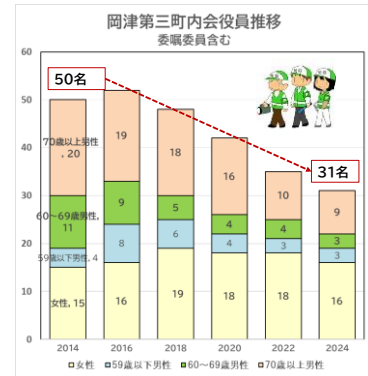
### ◎令和5年度町内会活動の基本的なスタンス

☞ コロナ委縮からの脱却

### ◎2つの基本的な課題

- (1) 3年間のブランクを越えて、大型イベント(夏祭り)を、  
どのように再開するか？(短期的な課題)
- (2) 進行する役員不足に如何に対処するか？(中期的な課題)  
\* コロナ以前から継続する課題、コロナ禍で加速した。  
\* 組織や体制、仕事の内容に関わる課題

**\* 役員の継続的な減少について**



□2014年役員数50名(内男性35名)に対し  
2024年役員数31名(内男性15名)  
⇒これまでの活動内容の実行が困難になる。

※役員数減少の背景には、町内会のレベルを超えた日本の社会特性(地域社会との関係が希薄)と人口減少と云う社会変動があると考えられる。

※日本の社会は、先進諸国の中で、家族等の集団を越えたところでの「他者との繋がりや交流」が最も少ない。(世界価値観調査:人口減少社会のデザイン:広井良典)

※人口減少(2008年をピークに人口減少)  
→シニア世代の就業者の増加(令和5年高齢社会白書)

シニア世代の就業率(令和4年度)

	60~64歳	65~69歳	70~74歳
男性	84%	61%	42%
女性	63%	41%	26%

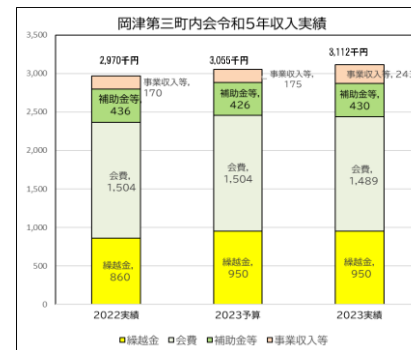
**◎令和5年度の町内会活動における4つの基本方針**

- (1)安心で安全、きれいな町作りの維持強化  
↳各事業部の活動実績の確認(議案書)
- (2)大型イベントの実施  
↳夏祭りを縮小型で実施(8月19日)
- (3)一般会員への活動参画への働きかけ  
↳夏祭りへの積極的応援依頼(但し、一過性)
- (4)役員減少への対応(組織や活動の見直し)  
↳行政広報紙の配布作業の一部返上

**第2号議案**

**令和5年度 一般会計並びに特別会計収支報告  
(会計監査報告)**

**\* 令和5年度町内会一般会計収入について**



\*収入面での対予算、対前年で大きな差異はない。過去10年の推移を見ても、300万円前後。

\*事業収入等が若干増加したが、これは、事業収入要因ではなく、連合町内会が2019年度の運動会協賛金の返金(6万円)があった事が主たる要因。



## 第4号議案

### 令和6年度 事業計画(案)

令和6年度町内会事業計画

#### ◎令和6年度町内会活動へ向けての基本的な認識

町内会を取り巻く内的外的環境は、前年から大きくは変化していない。むしろ、何も変わっていない。

#### ◎2つの基本的な課題も変わっていない

##### (1) コロナ禍による3年間ブランクの影響

☞ 昨年は、**大型イベント(夏祭り)**を再開できたが、将来的に、どのような形で実施していくか。

##### (2) 進行する役員不足に如何に対処するか？(中期的な課題)

☞ 組織や制度などの在り方、個別の活動内容などを変えていく必要性

令和6年度事業計画

#### ◎令和6年度の町内会活動における4つの基本方針

➡前年度の方針を継続、発展させる。

- (1) 安心で安全、きれいな町作りの維持強化
- (2) 各種イベントの積極的な実施
- (3) 一般会員への活動参画への働きかけ
- (4) 役員減少への具体的対応策の実行

令和6年度町内会事業計画 (基本方針)

#### (1)安全で安心、きれいな町作り

\* **日常生活に密着した問題**であり、これをどう維持強化していくか

☞ **町内会活動の最も基本的な課題。**

\*したがって、防犯、防災、環境保全、交通安全、福利厚生等の活動を継続、充実させることが、最も基本的な方針

#### (2)各種イベントの積極的な実施

\* **安全で安心、きれいな町の基盤は、近隣同士の充実した人的交流。**

☞ **近隣同士の交流を深める最も効果的な方法が町内のイベント。**

\* イベント実施の意義は、第一に町内の人的交流にある。

### (3) 一般会員への活動参画の働きかけ

\*現代の人口減少社会では、町内会の役員や班長の成り手が不足するのは不可避免的な動向。

☞ 役員と班長に頼った体制には自ずと限界がくる。したがって、**広く一般会員に協力を促すと共にそれを可能にする仕組みが必要**。

### (4) 役員減少への具体的対応策の実行

\*町内会活動を将来も維持しようとするならば、役員や班長の成り手の減少を前提に、**組織や制度、活動内容の見直しが必要**

☞ その中には、現在の行政や地域団体から依頼される業務を見直す事も含まれる。(行政広報の件・地域活動の応援依頼など)

□変更後の内容は、

\*事業部名 交流支援部

\*事業内容

町内会及び地域における人的交流の支援に関する事

\*規約には、上記の表現になるが、ここでは以下の補足を追加。

☞ **交流支援**とは、各種研修会の開催やイベント等の実施、協力を通して、町内会会員及び地域団体との人的交流を促進する事を意味する。

### \*補論 女性部の名称変更について

町内会規約第9条に記載の女性部の業務内容と名称を変更する。  
(理由)

\*規約上の女性部の業務・・・**「婦人の教室、生活の合理化に関する事」**

☞ 現在の日本の社会状況から考えて、その規約の表現に違和感がある。

\*女性部の実際の活動

- ①地域イベントへの協力(地域団体の催事への協力)、
- ②町内会のイベントの支援(夏祭りの接待、祭り反省会や新年会等の準備)、
- ③女性向け講習会(浴衣、味噌作り等)

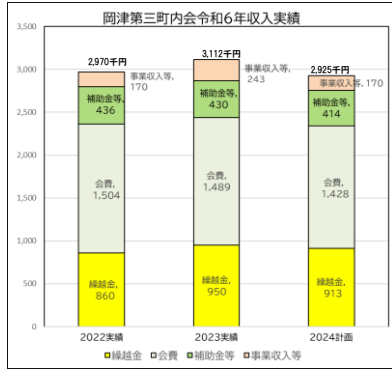
\*③以外は、「婦人の教室、生活の合理化」とは、まったく整合性のない内容。したがって、町内会の役員による協議の結果、実際の活動内容に則した名称と規定へ変更するべきである。

## 第5号議案

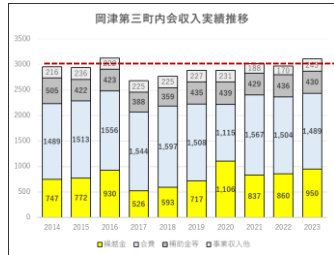
### 令和6年度 一般会計収支予算(案)

**\* 令和6年度町内会一般会計収入について**

令和6年度町内会収支予算

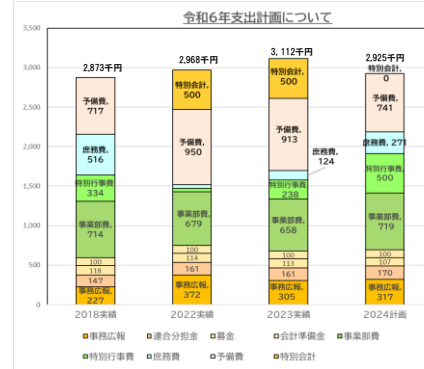


\* 収入面では、昨年度、一昨年度と大きな差異はない。過去10年を見ても、3百万円前後で推移  
\* 補助金減少の可能性(行政広報の問題)



**\* 令和6年度町内会一般会計支出計画について**

令和6年度町内会収支予算



【予算積上げ概略】  
\* イベント実施の積極実施を前提に、特別行事費を積上げ。(前年比210%)

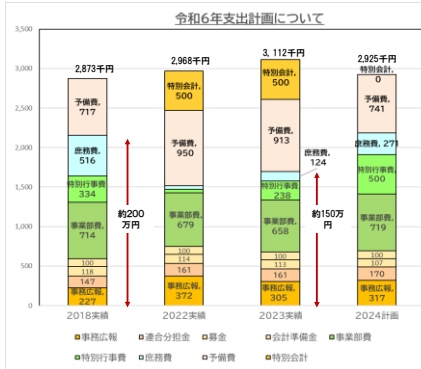
\* 庶務費も、町内会の懇親の増加、地域団体の活動の積極化などを想定して積上げ。(前年比219%)

\* 事業部費は、前年比110%。  
・環境衛生(ゴミ箱入替/補修)・防災備蓄  
・防犯(防犯看板の補修)  
・福利厚生(一人暮らしの高齢者支援等)  
・交流促進、子ども会活動

\* 予備費  
(前年予算799千円⇒741千円)

**\* 令和6年度町内会一般会計支出計画について**

令和6年度町内会収支予算



【予算執行に関する課題】  
\* 今期はコロナ禍による足かせの完全払拭を目指す

\* しかし、それでも町内のイベントや地域団体の活動の復活が中期的に見て難しい場合(特別行事費や庶務費が大きく残った場合)=年間150~200万規模

⇒ 町内会費減額の検討もあり得る

\* 令和5年の活動状況が6年度以降も継続するのか、それともコロナ禍前に近いレベルまで回復するのか。令和6年に動きを見る必要があると考える。

